

## 国民健康保険コーナー

医療と介護両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減する制度が始まりました。

### 高額医療・高額介護合算療養費制度

1年間（毎年8月から翌年7月末）に支払った世帯の医療費と介護サービス費の自己負担額を合計し、基準を超えた場合に、その超えた金額を払い戻します。

#### 支給要件・支給額

○世帯内の国民健康保険の被保険者の方全員が、1年間（毎年8月～7月末）にお支払いされた医療保険と介護保険の自己負担額を合計し、下記の基準額を超えた場合に、その超えた金額を支給します。

今年度においては、〔平成20年4月～平成21年7月末の16ヶ月間の自己負担額が、次のカッコ内の基準額⑥を超える場合には、その超えた額〕と〔平成20年8月から平成21年7月までの基準額④を超えた額〕を比べ、大きい方の額を支給します。

#### 年間の基準額（合算制度の自己負担限度額）

(70～74歳の方)		④	⑥
① 高齢受給者証の負担割合が「3割」となっている方	…	67万円 (89万円)	
② 世帯員全員が市町村住民税非課税の方	…	31万円 (41万円)	
③ ②のうち、世帯員全員の所得が一定以下※の方	…	19万円 (25万円)	
※年金収入80万円以下等			
④ ①・②・③以外の方	…	56万円 (75万円)	

(70歳未満の方)		④	⑥
① 世帯員全員の合計所得が一定以上※の方	…	126万円 (168万円)	
※合計所得600万円以上			
② 世帯員全員が市町村住民税非課税の方	…	34万円 (45万円)	
③ ①・②以外の方	…	67万円 (89万円)	

#### 支給申請の方法

○支給の対象となる被保険者の方には、12月中にお知らせします。お知らせが届いた方は、下記の窓口申請してください。

申請先・お問合せ先 健康福祉課国保係 有線 31-5121 電話 54-2781

## 尾原ダム・志津見ダムの ダム湖名を募集します。

#### ○応募方法

「はがき」、「FAX」、「E-mail」のいずれかにより応募できます。

応募用紙は、地域振興課(仁多庁舎)、町民課(横田庁舎)にあります。

#### ○応募先・お問合せ

国土交通省 斐伊川・神戸川総合開発工事  
事務所  
調査・品質確保課  
(電話) 0853-21-1650  
(ファクス) 0853-21-7304

#### ○応募締切

平成22年1月31日

詳しい募集事項はホームページでご覧いただけます。  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/hiikawa/index.htm>

## 小学生が たたら操業を体験

古来から伝わる日本独自の製鉄法「和鋼製鉄」を体験する学習会が、鳥上小学校に隣接する「古代たたら体験工房」で開催され、町内の全小学校六年生、約百六十人が、鉄穴流しからケラ（鉄の塊）出しまでの全工程を体験しました。体験は、十一月二十四日に国選定保存技術保持者の木原明さんから、「たたら製鉄」の歴史や鉄ができるまでの流れについて教わり、二十六日に炉作りや鉄づくりの原料となる砂鉄を取り出す鉄穴流しを体験しました。

最終日二十七日には、早朝から操業が始まり、児童たちは、砂鉄八十七キ、炭百二十キを交代で五分ごとに投入しながら、吹子を使って炉内に風を送り込み、炭を燃やして温度を調節していました。操業から十時間以上経った夕刻には、三十キを超えるケラを取り出され、児童たちは、一つの仕事をやり遂げた充実感に満ち溢れていました。村下の木原さんは「この体験を通して、郷土に伝わる鉄の伝統文化を知り、モノづくりの楽しさ、難しさを感じ、郷土を愛する心を育んでほしい」と話されました。児童たちは、協力し合うことの大切さを知る、貴重な体験となりました。



▲ケラを取り出す児童たち

## 町内の園児たちが 影絵を鑑賞

子どもたちに、本物の舞台演劇に触れてもらおうと、町の子育て支援室が主催した影絵鑑賞会が、十一月十日、カルチャープラザ仁多で開催されました。今回公演を行ったのは、NHKの学校放送などでもお馴染みの劇団「みんわ座」で、江戸時代（約二百年前）の「写し絵」と呼ばれる影絵芝居を二十年かけて復元した劇団です。

この日は、三本の演劇が行われ「だるま夜話」では、掛け軸から飛び出しただるまが、太鼓のリズムに合わせてリズムミカルに動く姿に、園児たちは大笑い。また「とべないホタル」では、ホタルの輝きと周囲の影絵による背景がとても美しく、片方の羽が縮れて飛ぶことができないホタルを、仲間が支え合い生きていくシーンなどに、園児たちは真剣に見入っていました。



▲熱心に観賞する園児たち

三本目は「白いりゅう黒いりゅう」で、村人や少年が力を合わせて黒いりゅうを退治する場面では、間口十四畳の迫力ある画面や音に負けないほどの声援を送っていました。この日集まった約二百人の園児たちは、影絵ならではの美しい場面に浸りながら、思い出深い一日を過ごしました。

十二月六日、横田コミュニティセンターで「ケロボンズファミリーコンサートINおおいずも」が開催され、町内外から約四百人の親子連れが訪れました。今回のコンサートは、町内の有志でつくる読書ボランティアグループ「ポケット」による企画で、実行委員会を組織して開催されました。「ケロボンズ」は、全国各地で歌あり、笑いありのステージを繰り広げ、NHK教育テレビで使われている曲の作詞、作曲、歌などを担当する人気のグループです。コンサートでは、歌のほか、パネルシアターや親子での手遊び、体操なども行われ、来場した親子連れは、思い出に残る、楽しいひと時を過ごしました。

ファミリーコンサート  
親子連れで賑わう